



松島町【宮城県】 歴史文化基本構想

■ 策定年月：平成30年3月 ■ 人口：14,632人 ■ 面積：54km²
■ 担当課：松島町教育委員会教育課（平成30年3月現在）



松島町では平成28年度に地域住民・学識経験者・役場関係課等からなる策定委員会を組織して議論を進め、平成29年度に歴史文化基本構想を策定した。構想では①各地域の文化遺産を把握し、②魅力あるストーリーとして5つの関連文化財群を抽出するとともに、③文化財の現状と課題を保存・活用の側面から明らかにすることで、今後の文化財行政の基本的な考え方と方針を示した。

5 歴史文化を表す つのキーワード

古来の霊場、伊達家の奥座敷、文人を魅了した景勝、
縄文から続く豊かな海、干拓の偉業を伝える田園

課題

- ・文化財の保存状況の改善
- ・街並みの景観維持・形成
- ・ガイド養成
- ・文化財公開施設の再検討

保存活用方針

- ・継続的調査の実施
- ・関連文化財群の活用
- ・地域主体の取り組み
- ・効果的な情報発信

保存活用のための取り組み

継続的調査の実施

総合的データベースの構築
計画的な文化財の調査
指定文化財の現状把握



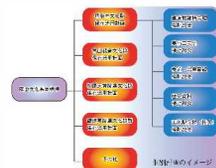
関連文化財群の活用

魅力的あるストーリーの構築
個別の保存活用計画の策定
近隣自治体との連携



地域主体の取り組み

地域の歴史出張講座の実施
個別の文化財群についての保存活用計画の策定
保存活用計画の運用と展開
ガイドの養成

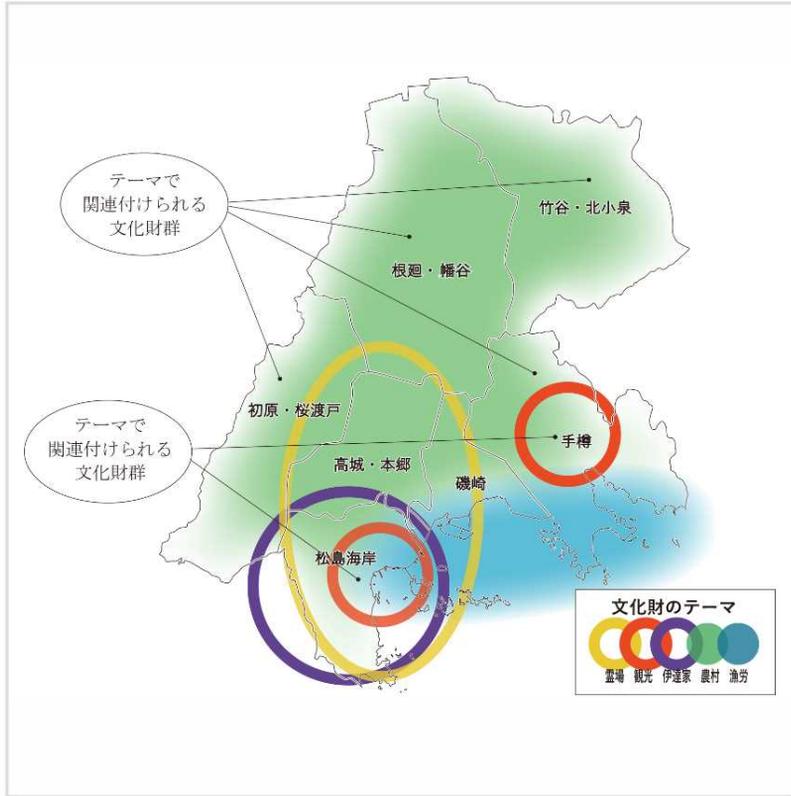


効果的な情報発信

情報発信拠点の整備
活用ツールの充実
各種メディアの効果的な活用



▲ 関連文化財群



松島町の文化財を大きく5つのストーリーとしてまとめた。

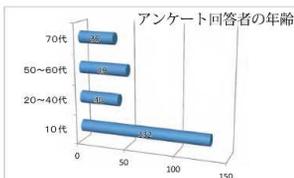
- A : 1000年の霊場
- B : 伊達家の奥座敷
- C : 文人墨客を魅了した景勝
- D : 縄文時代から続く豊かな海
- E : 品井沼干拓の偉業を伝える田園

ストーリー

- A 崇敬を集めた松島の絶景と、今も残る霊場の痕跡
- B 伊達政宗の「とっておき」と、伊達家ゆかりの品々
- C 古からの歌枕の地、旅人があこがれた景勝地
- D 連綿と続く海の仕事と暮らし
- E 新田開発と治水を目指した人々の苦難の道程

▲ 策定後の成果（見込まれる効果）

① **地域住民の意識向上**
策定会議には地区の商店や旅館業を営む人材も加わり、それぞれの人脈を活かした広がりが期待できる。構想策定に先立つアンケート（回答数258件）には公民館の講座参加者・町内幼稚園の保護者・町内の県立高校の生徒など幅広い層からの協力を得ることができ、それぞれが持つ文化財に対する意識を知ることができた。



② **町の諸計画への反映**
策定委員には町の景観・都市計画を担当する部署、観光計画を担当する部署の責任者が加わっており、今後の町の諸計画の策定・改訂に当たっては本構想の基本方針を反映させたものになることが期待できる。



③ **基本構想の対外発信**
策定会議や視察研修の様子は町の公式Facebookで公開しており、関連投稿の閲覧者数は4572件、いいね！数が164件（いずれも30年3月末時点）となっている。構想の策定については町の広報（全戸配布5,650世帯）で周知し、構想本文・概要版は町のHPでダウンロードできるようにしている。

